



平成26年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年8月8日

上場会社名 第一交通産業株式会社
コード番号 9035 URL <http://www.daiichi-koutsu.co.jp>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中亮一郎

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 垂水繁幸

TEL 093-511-8840

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	20,044	0.8	1,232	8.8	1,202	5.6	639	8.3
25年3月期第1四半期	20,202	14.1	1,351	42.9	1,273	55.7	590	147.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 752百万円 (35.8%) 25年3月期第1四半期 554百万円 (111.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	32.70	
25年3月期第1四半期	30.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	138,988	27,336	18.6	1,324.10
25年3月期	137,551	26,769	18.4	1,297.78

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 25,887百万円 25年3月期 25,373百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		5.00		10.00	15.00
26年3月期					
26年3月期(予想)		5.00		10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,400	6.9	2,680	10.3	2,500	11.3	1,220	29.7	62.40
通期	88,000	0.2	6,580	7.6	6,280	6.2	3,240	13.1	165.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	19,613,600 株	25年3月期	19,613,600 株
期末自己株式数	26年3月期1Q	62,472 株	25年3月期	62,472 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	19,551,128 株	25年3月期1Q	19,551,128 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2．サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3．四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4．補足情報	11
営業の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策への期待感から円安の進行や株価の上昇等、景気回復の兆しが見られましたが、実体経済に波及するにはまだ時間がかかるものと思われます。

このような状況の下、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は20,044百万円（前年同四半期比0.8%減）、営業利益は1,232百万円（同8.8%減）、経常利益は1,202百万円（同5.6%減）、四半期純利益は639百万円（同8.3%増）となりました。

なお、当社グループの不動産分譲事業では、顧客のニーズに合わせて第4四半期連結会計期間に竣工する物件の割合が高いため、業績に季節の変動があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

タクシー事業

タクシー業界においては、「タクシー適正化・活性化特別措置法」に基づく需給調整による減車・休車の影響で、1台当たり各種実績は上向いておりますが、政権交代後の円安や株価の回復による景気上昇局面においても、いまだ大きな好転はなく、厳しい状況で推移しております。

当社グループにおいては、飲酒運転撲滅とタクシー代行運転の推進、女性乗務員による丁寧な接客面や出張・旅行者向けに「全国タクシー予約センター」のPRのほか、「安全は最良のサービス」「安全運転は全てに優先する」をモットーに安全運転研修の実施、乗務員の若返り及び定着を図るための乗務員採用に注力してまいりました。また、タクシー自動配車アプリ「モタク」の対象を枚方市、寝屋川市、交野市に拡大、交通系ICカードなど電子マネー決済端末のPR、3カ国語同時通訳サービス（英語・中国語・韓国語）の24時間対応等により、利用者の利便性向上と他社との差別化を図りました。特に6月には「サービス向上月間」とし、接客・接客マナーの向上を図るため、言葉遣いや復唱の徹底指導など車内ロールプレイングを行い、より上質なサービス提供に努めました。

以上の結果、売上高は12,617百万円（前年同四半期比1.6%増）となり、燃料価格が高騰している中で営業所の統廃合による合理化と様々な経費削減に取り組んだ結果、セグメント利益は285百万円（同18.4%増）となりました。

タクシー認可台数は、当第1四半期連結累計期間において、兵庫県相生市の相生神姫タクシー株式会社（18台）、長崎県佐世保市の三光タクシー株式会社（17台）の買収並びに3社（20台）からの事業譲受等による増加を含めて、前連結会計年度比45台増加の7,376台となりました。

なお、平成25年5月に買収した北海道函館市の株式会社寿ハイヤー（42台）につきましては、買収後まもなく、かつ四半期連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないため、連結の範囲から除外しております。

バス事業

バス事業においては、沖縄県内の路線バス部門では、現金利用者が生活防衛意識から回数券・定期券へシフトし、自家用車通勤者も燃料価格の高騰に伴いバス通勤に切り替える傾向にあります。那覇バスでは、「モデル性の高い基幹的公共交通」実証実験への協力、那覇市内観光周遊バス「那覇ま〜い ゆいゆい号」を運行開始するなど、利便性の向上を図っております。一方で、貸切バス部門においては、沖縄県への入域観光客は、国内からの個人、法人団体旅行の増加に加え、国際航空便の増加に伴う外国人観光客も増加しており、個人客の増加に対応するため、那覇空港と県内主要リゾートホテルを結ぶ「エアポートライナー」の運行を開始しております。また、バスガイド・乗務員で構成する音楽ユニットによる営業活動も、集客に功を奏しております。

以上の結果、バス事業全体の売上高は1,875百万円（前年同四半期比4.2%増）となりましたが、燃料価格が高騰している中で経費削減に取り組んだものの、セグメント利益は100百万円（同5.2%減）となりました。バス認可台数は、ノンステップバスの導入代替えに伴い、前連結会計年度比23台減少の708台となっております。

不動産分譲事業

不動産分譲業界においては、地価下落が下げ止まり傾向にあり、税制優遇拡充などの各種政策、消費税率の引き上げや金利上昇を意識した購入マインドが市場を下支えしております。

このような状況の下、当社グループのマンションにおいては、生活利便性の高いエリアでの供給に注力し、「アーバンパレス愛宕プレス」(福岡市 22戸)、「アーバンパレス葛西」(東京都江戸川区 43戸)の新規販売のほか、重点課題として引続き完成在庫の販売に取り組んだ結果、共同事業を含む新規の竣工引渡し物件及び完成在庫の販売による売上高は、1,274百万円(前年同四半期比36.4%減)となりました。

戸建住宅におきましても、「暮らしを潤す低価格な土地付住宅」をテーマにした第一ホーム(株)の「ユニエクセラ」シリーズを、福岡県古賀市の「古賀駅前」(4区画)、福岡県福津市の「宮司」(14区画)、福岡県糟屋郡の「久山」(6区画)、「新宮」(6区画)を新規販売し、順調に推移した結果、売上高は1,152百万円(前年同四半期比25.6%増)となりました。

その他254百万円を加えた不動産分譲事業全体の売上高は、2,681百万円(前年同四半期比15.7%減)となり、セグメント損失は2百万円(前年同四半期は、セグメント利益326百万円)となりました。

不動産賃貸事業

不動産賃貸業界においては、政権交代後の景気上昇局面において、首都圏で下げ止まり感が伺えるものの、地方ではいまだ低迷が続いており、賃料以外の付加価値サービスの充実を図る傾向にあります。

当社グループでは、取引業者と連携した入居支援キャンペーンの展開等により入居率の維持に努めるとともに、福岡県行橋市内において、各戸ホームセキュリティ完備の新築賃貸マンション(3LDK24戸)を着工しました。なお、前連結会計年度において商業施設の所有目的の変更による店舗の賃料収入の増加により、全体の売上高は897百万円(前年同四半期比23.4%増)、セグメント利益は478百万円(同27.4%増)となり、管理物件は14都道府県で1,957戸となりました。

金融事業

当社グループにおける金融事業の融資残高は、堅調な不動産市場を背景に、良質資産の積極的な積上げを行う一方、不良資産の縮減に努めた結果、不動産担保ローンは12,520百万円(前連結会計年度比475百万円減)、無担保ビジネスローンも施策的な抑制により108百万円(同6百万円減)となった結果、総融資残高は12,628百万円(同481百万円減)となりました。

売上高につきましては、手数料収入は増加しましたが、不動産再生事業における譲渡高が減少したこと等により、1,441百万円(前年同四半期比12.9%減)となりましたが、経費の削減に努めた結果、セグメント利益は293百万円(同39.8%増)となりました。

その他事業

その他事業においては、子会社業務管理、自動車の点検・整備、LPGの販売、パーキング事業及び車両運行管理請負業務等により、売上高は530百万円(前年同四半期比27.4%増)、セグメント利益は81百万円(同15.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ1,437百万円増加し、138,988百万円となりました。主な増加は、たな卸資産1,775百万円であります。

負債は、前連結会計年度に比べ870百万円増加し、111,652百万円となりました。主な増加は、有利子負債1,989百万円、主な減少は、支払手形及び営業未払金887百万円であります。

少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度に比べ566百万円増加し、27,336百万円となりました。主な増加は、四半期純利益639百万円であり、主な減少は、剰余金の配当195百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、概ね予想通りに推移しており、今後もより一層の営業体制の強化、経費節減に努めてまいります。従いまして、現段階において平成25年5月9日に公表いたしました第2四半期及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の見積額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,942	11,276
受取手形及び営業未収入金	2,318	2,174
営業貸付金	12,781	12,297
たな卸資産	24,195	25,970
その他	3,521	3,359
貸倒引当金	741	779
流動資産合計	53,018	54,298
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,896	21,769
土地	46,320	46,389
その他(純額)	4,674	4,651
有形固定資産合計	72,891	72,811
無形固定資産		
のれん	983	950
その他	333	318
無形固定資産合計	1,316	1,268
投資その他の資産	10,324	10,611
固定資産合計	84,533	84,690
資産合計	137,551	138,988

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	7,827	6,939
短期借入金	24,212	27,296
未払法人税等	1,251	385
賞与引当金	463	135
その他	6,050	7,064
流動負債合計	39,805	41,822
固定負債		
長期借入金	59,142	58,047
退職給付引当金	1,606	1,630
役員退職慰労引当金	1,878	1,907
利息返還損失引当金	34	24
その他	8,314	8,220
固定負債合計	70,976	69,830
負債合計	110,781	111,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,027	2,027
資本剰余金	2,214	2,214
利益剰余金	26,786	27,234
自己株式	67	67
株主資本合計	30,961	31,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165	225
土地再評価差額金	5,753	5,747
その他の包括利益累計額合計	5,588	5,521
少数株主持分	1,396	1,448
純資産合計	26,769	27,336
負債純資産合計	137,551	138,988

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	20,202	20,044
売上原価	16,685	16,614
売上総利益	3,516	3,429
販売費及び一般管理費	2,165	2,196
営業利益	1,351	1,232
営業外収益	258	279
営業外費用		
支払利息	312	286
その他	23	23
営業外費用合計	335	309
経常利益	1,273	1,202
特別利益		
固定資産売却益	5	0
特別利益合計	5	0
特別損失		
固定資産除売却損	24	27
投資有価証券評価損	16	15
特別損失合計	41	42
税金等調整前四半期純利益	1,237	1,161
法人税、住民税及び事業税	619	462
法人税等調整額	5	6
法人税等合計	614	469
少数株主損益調整前四半期純利益	623	691
少数株主利益	33	52
四半期純利益	590	639

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	623	691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	60
その他の包括利益合計	69	60
四半期包括利益	554	752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	523	699
少数株主に係る四半期包括利益	30	52

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	タクシー	バス	不動産 分譲	不動産 賃貸	金融	計				
売上高										
外部顧客 への売上 高	12,423	1,800	3,179	726	1,655	19,786	416	20,202	-	20,202
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	-	-	-	-	-	-	988	988	988	-
計	12,423	1,800	3,179	726	1,655	19,786	1,404	21,191	988	20,202
セグメント 利益	240	105	326	375	210	1,258	96	1,355	4	1,351

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社業務管理、自動車の点検・整備、LPGの販売、パーキング事業及び車両運行管理請負業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 4百万円には、セグメント間取引消去28百万円、営業外収益計上バス運行補助金収入 32百万円が含まれております。

なお、バス事業に係るバス運行補助金収入については、報告セグメントの利益を算定するにあたり、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、費用から控除しております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	タクシー	バス	不動産 分譲	不動産 賃貸	金融	計				
売上高										
外部顧客 への売上 高	12,617	1,875	2,681	897	1,441	19,514	530	20,044	-	20,044
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	-	-	-	-	-	-	1,031	1,031	1,031	-
計	12,617	1,875	2,681	897	1,441	19,514	1,561	21,075	1,031	20,044
セグメント 利益又は損 失()	285	100	2	478	293	1,155	81	1,236	3	1,232

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社業務管理、自動車の点検・整備、LPGの販売、パーキング事業及び車両運行管理請負業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 3百万円には、セグメント間取引消去33百万円、営業外収益計上バス運行補助金収入 36百万円が含まれております。

なお、バス事業に係るバス運行補助金収入については、報告セグメントの利益を算定するにあたり、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、費用から控除しております。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 前連結会計年度末において、所有目的の変更により、販売用不動産の一部を有形固定資産に振替いたしました。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、「不動産賃貸」について、売上高が156百万円及びセグメント利益が91百万円多く計上されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

4. 補足情報

営業の状況

(1) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
タクシー事業	12,617	+1.6
バス事業	1,875	+4.2
不動産分譲事業	2,681	15.7
不動産賃貸事業	897	+23.4
金融事業	1,441	12.9
報告セグメント計	19,514	1.4
その他事業	530	+27.4
合計	20,044	0.8

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. セグメント間の取引については相殺消去しております。

(2) タクシー事業

営業実績

項 目	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
第1四半期末在籍車両数	7,043 台	7,376 台
稼働率	90.5 %	88.9 %
走行キロ	91,323 千km	90,999 千km
運送収入	12,423 百万円	12,617 百万円
走行1km当たり運送収入	136 円 04 銭	138 円 66 銭

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) バス事業

営業実績

項 目	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
第1四半期末在籍車両数	698 台	708 台
稼働率	68.5 %	69.2 %
走行キロ	7,655 千km	8,187 千km
運送収入	1,800 百万円	1,875 百万円
走行1km当たり運送収入	235 円 19 銭	229 円 11 銭

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(4) 不動産分譲事業
販売実績

項目	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	数量 (戸)	金額 (百万円)	数量 (戸)	金額 (百万円)
マンション	201	2,005	72	1,274
戸建住宅	37	917	47	1,152
その他	-	257	-	254
合計	238	3,179	119	2,681

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 共同事業における金額は、全体の売上金額を当社持分比率で按分した金額を計上しております。
 3. 不動産分譲事業では、顧客のニーズに合わせて第4四半期連結会計期間に竣工する物件の割合が高いため、業績に季節的変動があります。

分譲住宅の契約実績

項目	期首契約残高		四半期中契約高		四半期末契約残高	
	数量 (戸)	金額 (百万円)	数量 (戸)	金額 (百万円)	数量 (戸)	金額 (百万円)
(前第1四半期連結累計期間)						
マンション	506	6,961	130	2,212	435	7,168
戸建住宅	27	581	41	1,149	31	813
(当第1四半期連結累計期間)						
マンション	186	4,443	139	3,111	253	6,281
戸建住宅	42	1,039	60	1,524	55	1,411

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 共同事業における金額は、全体の契約金額を当社持分比率で按分した金額を計上しております。

(5) 不動産賃貸事業
営業実績

項目	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	金額(百万円)	金額(百万円)
店舗	505	672
住居	103	108
オフィス	89	86
その他	28	29
合計	726	897

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(6) 金融事業
売上高の内訳

項 目	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	金額 (百万円)	(参考)融資残高 (百万円)	金額 (百万円)	(参考)融資残高 (百万円)
不動産担保ローン	284	13,745	297	12,520
ビジネスローン	1	150	1	108
不動産再生	1,240	-	1,005	-
その他	129	-	137	-
合 計	1,655	13,895	1,441	12,628

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。